

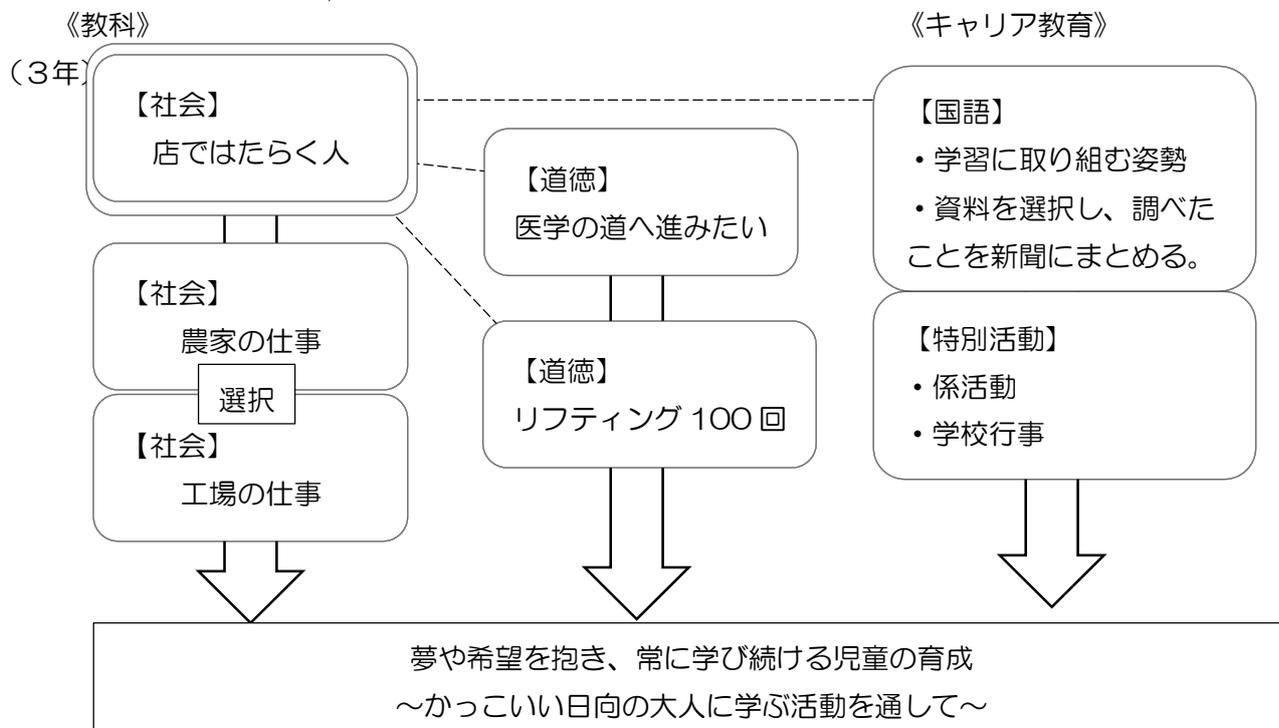
1 単元名 はたらく人とわたしたちの暮らし(小単元 店ではたらく人<新聞記者になって調べよう>)

2 目標

- 地域の人々の販売の仕事の様子に関心をもち、意欲的に調べ、自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 地域の人々の販売の仕事の様子について、学習問題や予想、学習計画を考えたり、自分たちの生活と関連づけて考えたりして、適切に表現することができる。(社会的な思考・判断・表現、キャリア教育)
- 観点にもとづいて見学したり資料を活用したりして、地域の人々の販売の仕事の様子について必要な情報を集め、表などにまとめることができる。(観察・資料活用の技能、キャリア教育)
- 地域には販売に関する仕事があり、その特色や自分たちの生活を支えていること、国内の他地域などとのかかわりを理解することができる。(社会的事象についての知識・理解、キャリア教育)

3 講師 渋谷栄樹さん(マルイチストア財光寺店 店長)

4 教育活動間の関連 (⇒ 活動の流れ・----- 活動間の関連)



5 指導計画（全14時間）

| 主な学習内容及び学習活動 | 時間 | 評価計画 ・社会科 ☆キャリア教育 | 外部人材活用の方法 |
|--|--------------|---|--|
| 1 スーパーマーケットでの買い物 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 消費者がスーパーマーケットを利用する理由を明確にしようとし、スーパーマーケットについて学習しようとする意欲をもつ。(関意態) | |
| 2 スーパーマーケットで見つけたよ | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ☆ スーパーマーケットの挿絵を見て、販売の仕事の様子を観察し、疑問点や工夫点を見つけることができる。(技・キ) | |
| 3 スーパーマーケットのよいところ ○ スーパーマーケットの仕事 ○ 売り場の工夫 ○ 品物の産地 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットの様子をもとに学習問題づくりや予想、学習計画を考え、表現することができる。(思判表) | |
| 4 売り場を見学しよう | 3 | <ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットを見学して、看板やシールなどの動き、品物の産地や旬について調べることができる。(技) ☆ スーパーマーケットで働く人にインタビューすることができる。(技・キ) ☆ スーパーマーケットで働く人々は、注文、陳列、加工、包装などを行っていることを理解することができる。(知理・キ) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 売り場やバックヤードでの仕事の内容や工夫していることを説明してもらおう。 ○ 児童の質問に答えてもらおう。 |
| 5 品物はどこから | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ☆ スーパーマーケットでは、品物を国内外の産地から仕入れたり、仕入れる時期を考えたりしていることを理解することができる。(知理・キ) | |
| 6 たくさんのお客さんが来るひみつについてはたらく人にインタビュー | 2 (本時2/2) | <ul style="list-style-type: none"> ☆ お客さんの願いとスーパーマーケットの工夫とのつながりについて考え、店では消費者の願いに応えるサービスをしていることを話し合うことができる。(思判表・キ) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の質問に答えてもらい、工夫点を話してもらおう。 ○ たくさんのお客さんが来店する時の喜びや仕事のやりがいなどを話してもらおう。 |
| 7 まちの人びととともに | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ☆ スーパーマーケットでは、地域やそこに住む人々のために様々なことに取り組んでいることを理解することができる。(知理・キ) | |
| 8 はたらく人のくふうを新聞にまとめる | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ☆ これまでの学習を振り返りながら、スーパーマーケットで働く人々の工夫と消費者の願いとの関連について明らかにし、学習問題についてまとめることができる。(思判表・キ) ・ 調べたことをもとに、学習問題について図などでまとめることができる。(技) ☆ スーパーマーケットで働く人々は、消費者の願いに応えるために、様々な工夫を理解することができる。(知理・キ) | |

6 本時の目標

- お客様の願いとスーパーマーケットの工夫とのつながりについて考え、店では消費者の願いに応えるサービスをしていることを話し合うことができる。(社会的な思考・判断・表現、キャリア教育)

7 学習指導過程

| 段階 (時間) | 学習内容及び学習活動 | 指導上の留意点 ☆キャリア教育 | | 評価【評価方法】 ・ 社会科 ☆ キャリア教育 |
|-------------|---|--|---|---|
| | | 指導者 | 外部人材 | |
| 導入 (5分) | <p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 本時のめあてをつかみ、本時の学習内容を確認する。</p> <p>④ スーパーマーケットにたくさんのお客様が来るのはなぜでしょうか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーマーケットで見学したことを想起させる。 ○ 本時のめあてと学習の流れを確認させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーマーケットの方に自己紹介をしてもらおう。 |  |
| 展開 (30分) | <p>3 会見を開き、話し合ったことをもとに、お店の方にインタビューをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 見学して分かったことを確認しながらインタビューできるような質問を考えさせておく。 ○ 班ごとにインタビューをさせ、必要に応じたメモをさせる。 ○ スーパーマーケットの方の返答からキーワードを板書していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童からの質問に答えてもらう。 ○ 各売り場やそれ以外の場所の工夫点を話してもらう。 | <p>☆ お客様の願いとスーパーマーケットの工夫とのつながりについて考え、店では消費者の願いに応えるサービスをしていることを話し合うことができる。(つながる力)【観察・発言・ノート】</p>  |

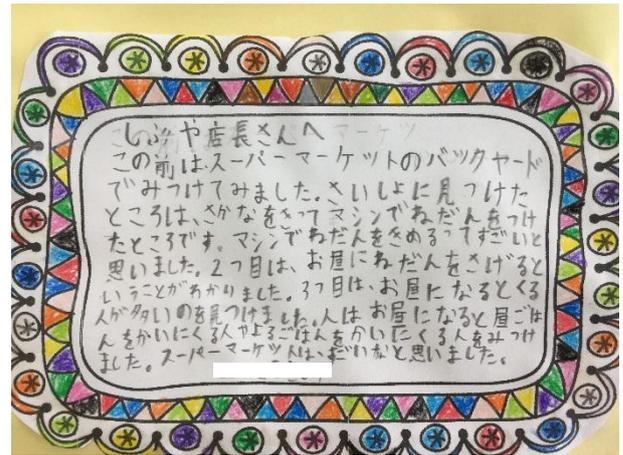
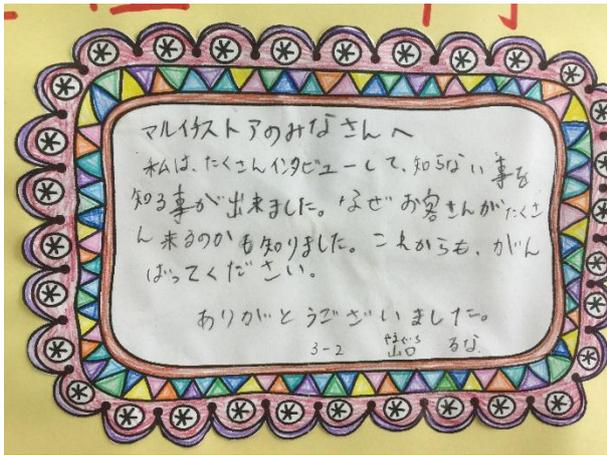
| | | | | |
|---------------------|--|----------------------------------|---|---|
| <p>終末 (10分)</p> | <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>㊦ スーパーマーケットで働く人々は、お客さんの多様な要望に応えるためのさまざまなサービスをしているから。</p> <p>5 次時の学習内容を確認する。</p> | <p>○ 話し合いで出されたキーワードをもとにまとめる。</p> | <p>☆ たくさんのお客さんが来店する時の喜びや仕事のやりがいなどを話してもらいまとめとする。</p> |  |
|---------------------|--|----------------------------------|---|---|

8 板書計画

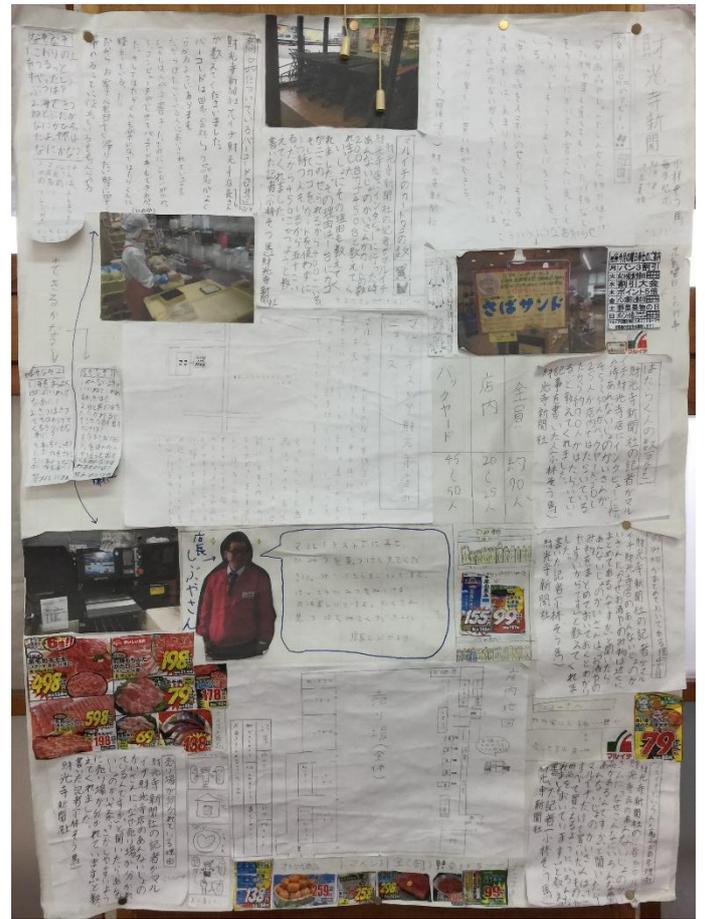
| | | | |
|---|--|---|--|
| <p>9/28</p> | <p>たくさんのお客さんが来るひみつ 記者会見 マルイチストア財光寺店 店長 しぶやさん</p> | | |
| <p>㊦ スーパーマーケットにたくさんのお客さんが来るのはなぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ~のような工夫をしていると思いますが、そのほかにくふうしていることはありますか。 ・ わたしたちは、お客さんがたくさん来るひみつは~だと考えますがいかがでしょうか。 | <p>キーワードスペース</p> | <p>㊦ スーパーマーケットで働く人々は、お客さんの多様な要望に応えるためのさまざまなサービスをしているから。</p> | |

9 ワークシート・児童の感想など 〈お礼の手紙〉





〈児童が作成した新聞〉



10 研究協議会（先生方のアンケートから）

(1) 単元の流れについて

- 身近なスーパーマーケットに着目したことで、児童がより身近な課題として捉えることができていた。
- 「新聞をつくる」というゴールイメージに向けて、単元計画が立てられていた。
- 社会科とキャリア教育を上手く兼ね合わせた単元計画だった。
- 児童がこれまでの学習で細かいところまで調べていたので良かった。
- これまでの学習の足跡の掲示がされていて良かった。

(2) 学習の進め方について

- ・ 導入で発表の仕方を確認したのが良かった。
- ・ 記者会見という場の設定（児童と外部人材との対話や新聞社名の明示）が良かった。分かっていたことや気付いていたことが、さらに詳しく、深い理解につながった。
- ・ 途中でめあてにもどって確認したり、ワークシートの記入の様子をチェックしたりすることが、児童の思考を促しているのが良かった。
- ・ 質問している人もしていない人も、しっかりメモをとらせて、同じ質問をしないように考えられていた。
- ・ キーワードとなる言葉を押さえ、言葉の色を変えて板書しているのがよかった。
- ・ 店長さんの話はとても分かりやすく、1つ1つの質問に対して丁寧に応えて下さっていた。教科書だけでは分からないことも分かり、児童のやる気につながったと思います。
- ・ 机間指導の時に、話し合いの進まないグループへアドバイスをしているのが良かった。
- ・ 残り5分で質問の優先順位をつけたのが良かった。
- ・ まとめを児童に任せたのは良かった。
 - 児童からなかなか出ない場合は、キーワードや出だしの言葉を押さえると良い。
 - 店長さんにもまとめを考えてもらうと良い。
- ・ 店長さんにやりがいを聞いたことは、キャリア教育の視点から有意義だった。もっと話してもらう時間があると良かった。
- 導入で質問を活発化させるための手立てをとっておくとよかった。
- 本時のめあてと児童の質問が合致していない場面があった。
 - めあてを解決するための質問の精選や児童の質問の把握をしておくとうよかった。そうすると、質問間の関連も意図的に図ることができる。
- 「お客さんがたくさんくるひみつ」について、事前にどれくらい押さえていたのか。
(児童の予想など)
- 質問に対して、児童なりの解釈（予想）を伝えた上で、店長さんに説明してもらうと良かった。
- 質問では出なかったひみつを、店長さんが教えてあげても良かったと思います。

(2) その他

- ・ 学習規律がいきとどいていて素晴らしい。
- ・ 聞き取りメモが追いつくように育ててくれればと思います。
- ・ 他の2学級でも授業を行い、多様な質問からお店の工夫につなげることができた。

11 授業者の感想

- マルイチストアに見学に行ったり、店長さんをお招きして話をしてもらったりしたことで、子どもたちの興味・関心を高めることができた。
- 単元を通して、新聞記者になり最終段階で新聞を作成するという目的をもたせながら学習を進めたことで、子どもたちが意欲的に調べ学習をすることができた。
- 記者会見を行う際に、各グループで質問の準備をしていたことはよかったが、本時のめあてに合致した質問かどうかを吟味させておく必要があった。
- 事前に質問をする時の練習をしていたが、緊張したのか恥ずかしいのか知らないが、積極的に質問をしようとする児童が少なかった。どのような場合でも積極的に発表できる態度やスキルを身に付けさせたい。